

薬学部

創部の趣旨

少子高齢化の進展、医療の高度化・複雑化により、我が国の医療は大きな転換期を迎えています。特に北海道においては、地域の人口減少と高齢化が急速に進んでおり、住民の健康を支援するため、他の医療関係職種と協働して医療にあたる薬剤師を養成し、必要な地域へ輩出することが強く望まれています。医薬品の適正使用と有効で安全な薬物療法を提供するという薬剤師の業務は、病院・薬局等だけでなく在宅までその範囲が拡大しています。

こうした社会的な背景、地域社会の要請を踏まえ、平成27年4月に前身となる北海道薬科大学を北海道科学大学と同じ前田キャンパスに移転し、医療系教育の充実を目指した様々な連携を可能とする環境を整備してきました。これまで北海道薬科大学で行ってきた専門教育に加え、北海道科学大学が持つ広がりと深さを備えた教養教育を展開することで、豊かな人間性と高い倫理観、基盤能力と専門性を併せ持つ人材を育成し、地域社会の保健・医療・福祉および薬学分野の発展に寄与するために薬学部を開設します。

人材養成の目的

薬学部・薬学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の習得のもとに、薬学分野に関する基礎的な知識及び基本的な技術と態度を基盤とし、豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊さを深く認識し、生涯にわたって薬の責任者としての自覚をもち、人の命と健康な生活を守るとともに、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の保健・医療・福祉の向上に寄与する次のような人材を養成する。

- ①薬剤師の責務及び法令を遵守し、人の命と健康を守る使命感、責任感及び倫理観を有する人材
- ②患者の権利を尊重し、常に患者と家族・生活者の立場に立って、行動することができる人材
- ③患者・生活者、他職種から情報を収集し、有益かつ適切な情報として発信するコミュニケーション能力を有する人材
- ④医療チームに参画し、相互の尊重のもとに責任ある行動を適切にとることができる人材
- ⑤生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学的知識を有する人材
- ⑥薬物療法を主体的に計画、実施、評価し、薬学的管理のもとで安全で有効な医薬品の適正

使用を推進できる人材

- ⑦地域の保健、医療、福祉、介護及び行政等と連携して、国民の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する人材
- ⑧薬学・医療の進歩に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する人材
- ⑨薬学・医療の進歩に対応するために、医療に関わる社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する人材
- ⑩次世代の薬剤師を育成する意欲と態度を有する人材